

**TORO®**

# 荷台キット

## Workman® GTX 汎用作業車用

モデル番号 07046

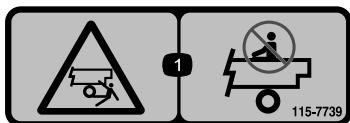
取り付け要領

# 安全について

## 安全ラベルと指示ラベル



破損しやすい部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal115-7739

115-7739

- 車体から振り落とされて大けがをする危険人を乗せないこと。

# 取り付け

## 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	右側荷台サポート 左側荷台サポート フランジヘッドボルト $5/16" \times 3/4"$ ワッシャ	1 1 8 8	荷台サポートを取り付けます。
3	支持棒のブラケット 六角ヘッドボルト $3/8" \times 2\frac{1}{2}"$ ロックナット $\frac{3}{8}"$	1 2 2	支持棒ブラケットを取り付けますシリアル番号 410500000 以降のマシン。
4	ボルト $1/2" \times 4\frac{1}{2}"$ フランジナット	2 2	荷台を取り付けます。



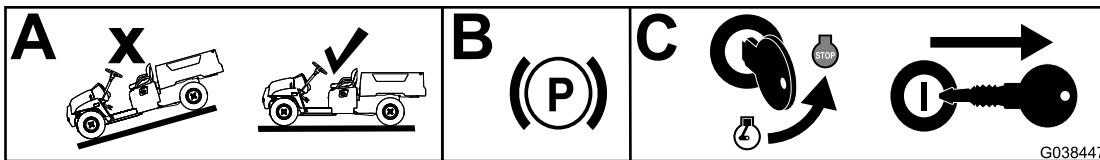
# 1

## マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。



G038447

g038447

図 1

# 2

## 荷台サポートを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	右側荷台サポート
1	左側荷台サポート
8	フランジヘッドボルト5/16" x 3/4"
8	ワッシャ

### 手順

1. それぞれの荷台サポートの穴を、荷台底部のねじ溝付きインサートに合わせる図 2。
2. それぞれの荷台サポートを荷台に固定するフランジヘッドボルト5/16 x 3/4" 8 本とワッシャ8枚を使用する図 2。
3. フランジヘッドボルトを 1517N·m / 1.01.3kg.m = 133147in-lbにトルク締めする。

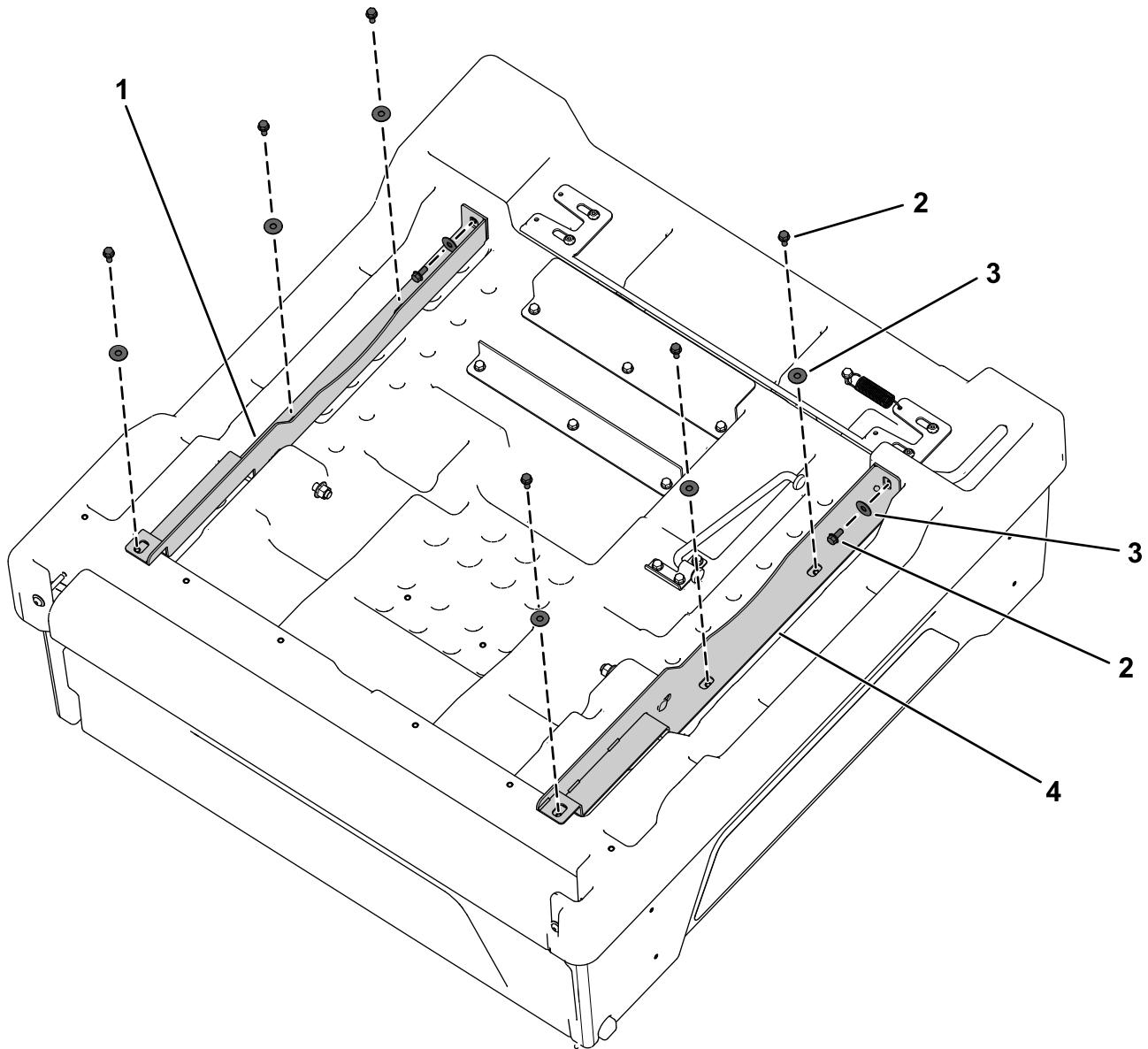


図 2

1. 右側荷台サポート  
2. フランジヘッドボルト5/16" x 3/4"  
3. ワッシャ  
4. 左側荷台サポート

g322754

# 3

## 支持棒ブラケットを取り付ける

シリアル番号 410500000 以降のマシン

この作業に必要なパーツ

1	支持棒のブラケット
2	六角ヘッドボルト $\frac{3}{8} \times 2\frac{1}{2}$ "
2	ロックナット $\frac{3}{8}$ "

## 手順

1. マシンのフレームに支持棒ブラケットを固定する六角ヘッドボルト $\frac{3}{8} \times 2\frac{1}{2}$ " 2 本とロックナット $\frac{3}{8}$ " 2 個で図 3 のように取り付ける。
2. 六角ヘッドボルト $\frac{3}{8} \times 2\frac{1}{2}$ " 2 本を  $41 \text{ N}\cdot\text{m}$   $4.2 \text{ kg.m} = 30 \text{ ft-lb}$  にトルク締めする。

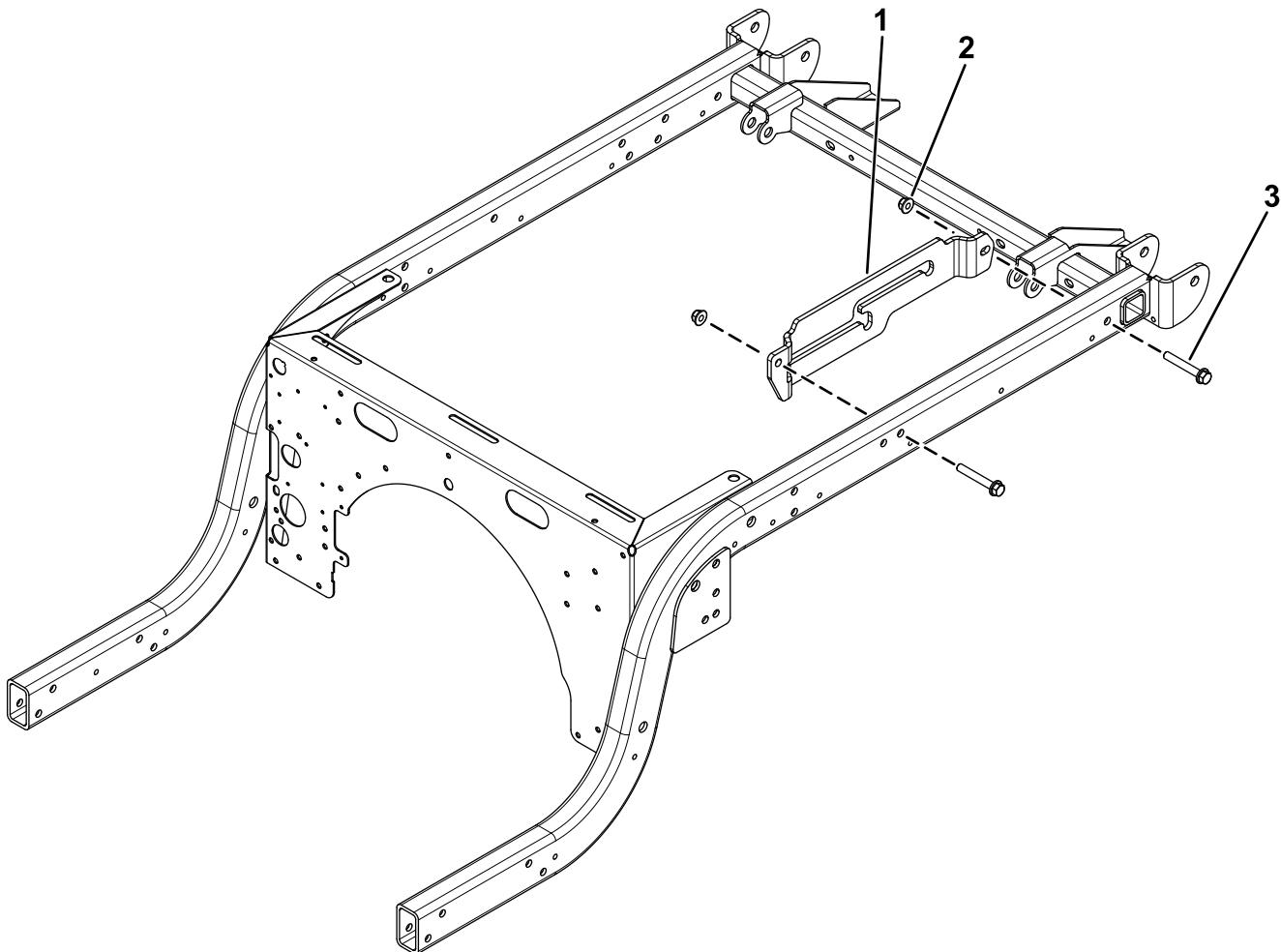


図 3

1. 支持棒のブラケット
2. ロックナット $\frac{3}{8}$ "

3. 六角ヘッドボルト $\frac{3}{8} \times 2\frac{1}{2}$ "

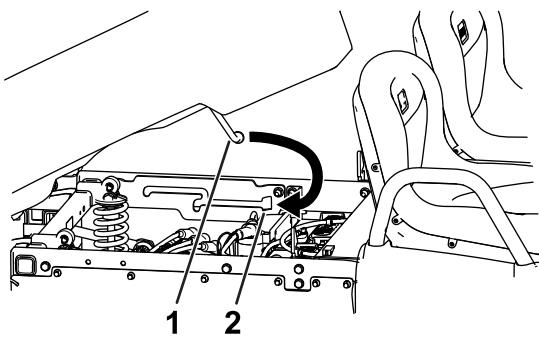
g377340

# 4

## 荷台を取付ける

この作業に必要なパーツ

2	ボルト $\frac{1}{2} \times 4\frac{1}{2}$ "
2	フランジナット



g191980

図5

## 手順

1. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、マシンを停止し、キーを抜き取る。
2. ピボットブラケットアセンブリと支え棒が下になるように荷台を裏返しにする。
3. 荷台の前後にホイストなどの昇降装置を使って荷台を吊り上げ、ピボットブラケットアセンブリを後ろ側にむけて、車体に装着できるように位置合わせを行う 図4。

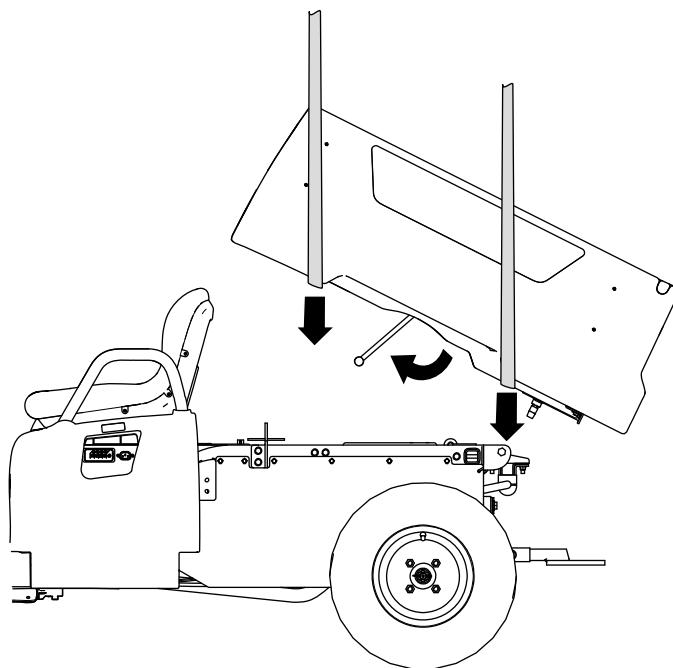


図4

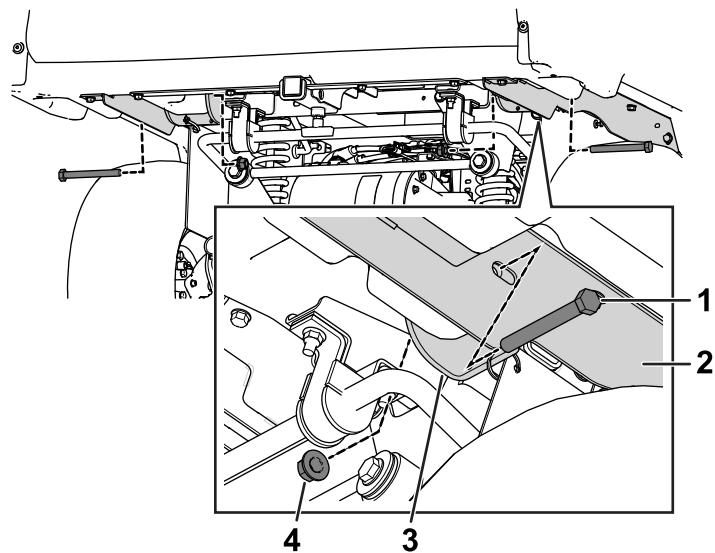
g191339

4. 支え棒の短い方の脚が左フレームのチャネルのスロットまたは支え棒ブラケットのスロットのキー穴にそろいうように、昇降装置の高さおよび位置を調整する 図5。

**注** 支え棒とキー穴を合わせる際には、昇降装置で荷台を少し上昇させる必要があります。

5. 支え棒を前に倒し、短い方の脚をキー穴に入れ 図5。

1. 支え棒
2. キー穴支持棒のスロット
6. 荷台と支持棒を後ろにずらして、ピボットブラケットアセンブリを後フレームのチャネル部材に整列させる。
7. ピボットブラケットの穴が荷台サポートにある穴に整列するように、荷台を注意深く降ろす 図6。



g191148

図6

1. ボルト $\frac{1}{2} \times 4\frac{1}{2}"$
2. 荷台サポート
3. ピボットブラケット
4. フランジナット
8. ボルト $\frac{1}{2} \times 4\frac{1}{2}"$  2本とフランジナット2個を使用して、左右の荷台サポートをピボットブラケットに固定する 図6。
9. フランジナット2個を $16-19 \text{ N}\cdot\text{m}$  2.0-2.6 kg.m = 140-170 in-lbにトルク締めする。

# 5

## 荷台のラッチの整列調整

必要なパーツはありません。

### 手順

荷台のラッチが確実にはまらないと、走行するときに荷台が上下に振動します。このような場合には、ラッチのポストを調節して、荷台がシャーシに確実に収まるようにしてください。

1. 荷台にラッチが掛かっていることを確認する。  
**注** ラッチが掛かっていない原因の多くは、荷台のラッチストライカの位置が低すぎるためです。ラッチが掛かるが運転中に荷台が上下にガタつく場合は、ラッチストライカの位置が高すぎます。
2. 荷台内側左にあるレバーを引いて荷台を持ち上げる図7。

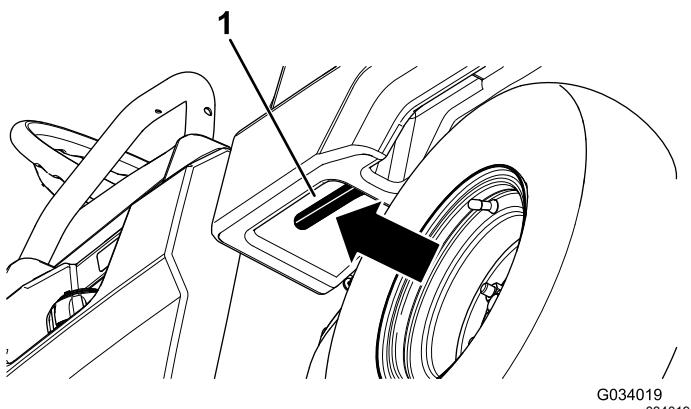


図 7

1. 荷台のレバー

3. プロップロッドをダンプ位置の固定スロットにはめ込んで荷台を固定する図8。

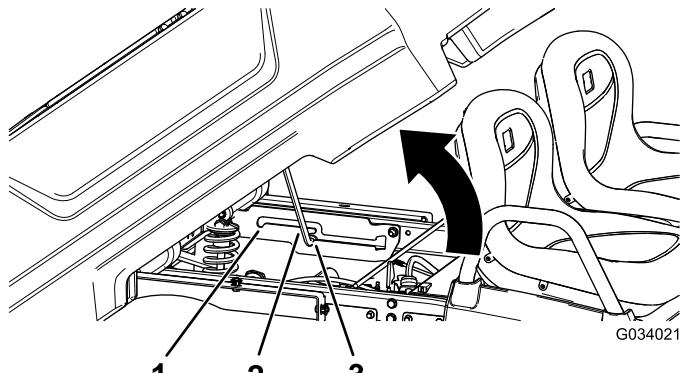


図 8

g034021

1. 整備位置の固定スロット
2. プロップロッド
3. ダンプ位置の固定スロット

4. 荷台のラッチストライカのボルト2本をゆるめて、ストライカの上下位置を調整する図9。

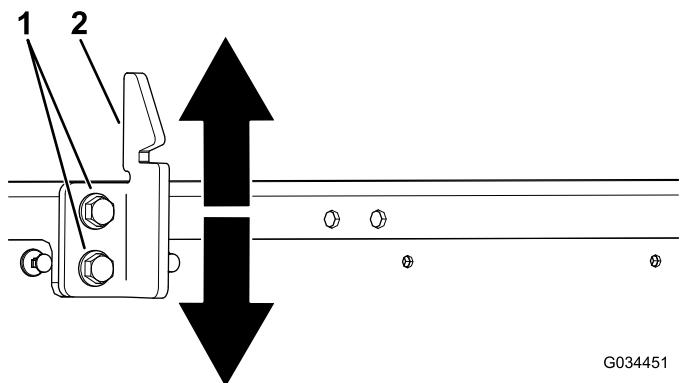


図 9

G034451

g034451

1. ボルト
2. 荷台のラッチストライカ
5. ラッチストライカのボルト2本を締め付ける図9。
6. 荷台を数回操作して、ラッチが適正に掛かるのを確認する。

メモ



**Count on it.**